

I 神から離れ罪あるすべての人の現実

1. 当時：ユダヤ人と異邦人との間には、「隔ての壁」：14があり、「敵意（敵対）」：15があった。

神がユダヤ人をお選びになったのは、彼らが生ける唯一の神を全世界の人々に証しする為

（「あなたがたはわたしにとって祭司の王国」＝異邦人を神に導く仲立ちの使命・真の神を世界に伝える使命を負わされた国民）出19：6、「あなたの御救いがすべての国々の間に知られるためです」詩篇67：2）・すべての民族が祝福される為（「地上のすべての民族は、あなたによって祝福される」創世記12：3、22：18）でした。

主に救われ霊的なイスラエルとされた私達（ローマ9：6-8、ガラテヤ3：7、29、6：16）にも世界に主を伝える使命（マタイ28：19、20、「あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司…です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです」Iペテロ2：9）があるのです。

神の選びには大きな使命が伴っており、その使命を謙遜に果たしていく事が彼らの正しい応答だったのです。しかし、ユダヤ人は特権が与えられて傲慢になってしまい、自分達も律法を守ることが出来ないのに他国人を差別し、見下げ、軽蔑し、敵意を持つようになりました。私達ははどうでしょうか？神から才能や経済や賜物、能力、恵みが与えられると神に感謝せず、神の栄光の為に用いる事をせず、高慢になり、心のどこかで他の人を見下したりしないように注意したい。また、当時の異邦人、ギリシャ人、ローマ人も、ユダヤ人を忌み嫌い、敵意を持っていた。

2. ユダヤ人と異邦人だけではなく、私達の間にも、昔も今も、国々、人種、職場、学校、家庭、あらゆる人々の間に「隔ての壁・敵意」、争いがある。その根本的な原因は・根は、私たち人間、世界中のすべての人の中にある罪（真の平和の源である神に背き、神から離れている罪）です。：15の「敵意」と同じ言葉の箇所→「肉（神から離れた私達の生来の性質・罪が支配する原理。キリストがかしら、支配者ではなく、自分、自我が支配者）の思いは神に反抗（敵対、敵意）する」（ローマ8：7）。「肉（私達の中にある罪の性質）の行いは明白であって…不品行、汚れ、好色、偶像礼拝（真の神ではないものを礼拝する、むさぼり、貪欲。エペソ5：5）、魔術、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊（酒に支配される）、遊興（神の喜ばれない悪い遊びにはまる）」（ガラテヤ5：20、21）。※これらの罪は、他人事ではない。私達の心にもある。もし私達が、主を信じ主に守られてこなかったなら、これらの罪に支配され、もっと悲惨な人生を送っている事だろう。主の救いと守りを感謝します！

私達は、すべての国々の人を差別せず愛して下さる神から離れていると、人々に対して、職業、学歴、立場、能力、富、言葉、人種、国、考え方の違いにより差別、隔ての壁、敵意、憎しみを持つようになってしまう。

II 隔ての壁、敵意を打ち壊し、真の平和を実現する素晴らしい方がおられる！

1. 「キリストこそ私たちの平和であり」：14。クリスマスに生まれ、十字架で私達の罪のために死なれたキリストこそ

①私達と神との平和

②神が赦された自分を自分でも受け入れる自己受容の平和

③私達と他の人々との平和を実現するお方。

2. 「二つのものを一つにし」：14。敵対していたユダヤ人と異邦人（私達を含む）を一つにして下さった。主の十字架の救いの御業の中で。敵対している私達が自分達の力で平和をつくることはできない。真の平和は、私達の修行や頑張りによるのではなく、真の平和を与えて下さる主を信じ、主が与えて下さる神との平和（神の赦し）、自分の心の平安、主の愛をいただいて他の人を赦し愛する平和によって実現する。

3. 「隔ての壁を打ちこわし」：14。「打ちこわし」の原語の意＝解く、ほどく、解き放す、滅ぼす、破壊する。主は私達の敵意、差別、不品行、偶像礼拝の罪を背負って十字架で身代わりに死なれた。その十字架の御業の中で、私達の隔ての壁、敵意を打ち壊して下さった。あとは、世界中の国々のすべての人種の人々、私達が、平和そのものであるキリストのもとに行き、主を信じて主の救い、主が既に獲得された・成就された恵み、平和を受け取る時、隔ての壁、敵意、差別から解放されて行く。そして、一度限りではなく、絶えず主のもとに行き、恵みを受け続けるのです。敵意やまだ赦せていない心を包み隠すことなく主に打ち明け、正直な心を注ぎ出し、愛を求めて神に祈る事が出来るのです。神は私達の方では決して生み出せない大きな愛を私達の心に注いで下さいます。マタイ7：7。主なる神はすべての人種を差別せず、愛し、救いに招き、隔ての壁を取り除いて下さる素晴らしいお方です！主は私達を人種、学歴、職業、能力等で差別する方ではありません。

「神にはえこひいき（別け隔て）などはないからです」ローマ2：11。

「新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。そこには、ギリシャ人とユダヤ人、割礼の有無、未開人、スクテヤ人、奴隷と自由人というような区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのうちにおられるのです」コロサイ3：10、11。

真の平和を実現して下さる主のもとに行きましょう。主を信じた後も真の平和を与えて下さる主のもとに行きましょう。